

ホタテガイ養殖管理情報

袋替えをする場合は古い袋を捨てずに残すようにしてください

1 各地採苗器への付着状況

6月26日～29日に行った全湾臨時付着稚貝調査の結果は、別表1、2及び右図のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、全湾で20,466個/袋、西湾で4,259個/袋、東湾で44,076個/袋と、第1回付着稚貝調査時（それぞれ7,210個/袋、1,656個/袋、14,616個/袋）よりも多くなっています。

稚貝の平均殻長は全湾で0.85mm、西湾で0.91mm、東湾で0.77mmでした。

キヌマトイガイは全湾平均で18,838個/袋、ムラサキイガイは全湾平均で33,190個/袋と、第1回付着稚貝調査時（それぞれ16,438個/袋、4,572個/袋）よりも多くなっています。

なお、ヒトデの付着は見られませんでした。

2 海況

6月26日～29日の平均水温は、平館ブイで12.4～16.1℃、青森ブイで11.8～16.7℃、東湾ブイで8.9～16.9℃でした。半旬別平均水温を平年と比べると、平館ブイの全層で「やや低め」、青森ブイの1m層、30m層および底層で「やや低め」、15m層で「平年並み」、東湾ブイの1m層で「平年並み」、15m層で「はなはだ低め」、30m層で「かなり低め」、底層で「やや低め」でした。

3 今後の見込み

袋が汚れている場合は袋替えを、ホタテガイの付着数が多い場合は袋替えや間引きをしてください。

西湾の早い所では7月上旬から、東湾の早い所では7月中旬から作業ができる見込みですが、**付着稚貝が目で確認できるサイズになってから行ってください。網への付着数が少ない場合もあるので、古い袋を捨てずに新しい袋やパールネットに入れて残すようにしてください。**

ヒトデのブラキオウリア幼生が見られており、**早く作業を行うと付着する可能性**がありますので注意してください。また、ウミセミが多く見られる所では、稚貝が食害にあわないように細目の袋を使用してください。

7月11日に第2回全湾一斉付着稚貝調査（袋替えや間引きを行わなかった場合は間引き前の上、中、下段、合計3袋、行った場合は間引き前の上、中、下段と間引き後の中段、合計4袋）を行い、結果を7月14日に発行する予定ですので、稚貝採取時期については今後の情報を参考にしてください。

※袋替えおよび間引き作業の注意点

- ・採苗器の状況を十分に把握する（稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等によって異なる）。
- ・稚貝へのショックは出来るだけ少なくする（間引きを行う場合は、流網などの付着基質を上下に振るだけにして船べり等に叩き付けない）。
- ・採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする（2万個以下になるように）。
- ・作業後は、施設を安定させる。
- ・ヒトデの付着が見られるときは、結び目をよく洗う。

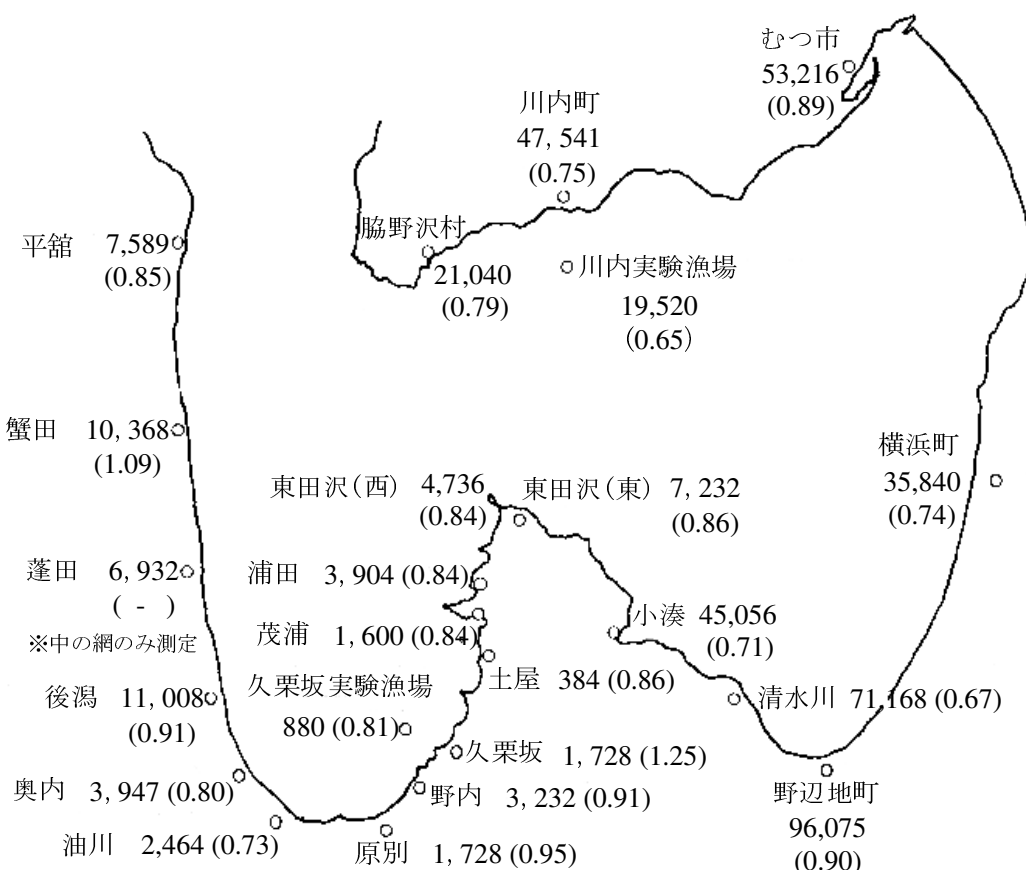


図1 調査地点毎のホタテガイ付着数[単位：個/袋(平均殻長mm)]

